

ごあいさつ

コスモ・ザ・カード「エコ」会員の皆さまと、「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトをはじめから、今年で5年目になります。ひとえに、会員の皆さまのご支援や激励をいただきながら、今日のプロジェクトをつくりあげることができました。本当にありがとうございます。今では、約81,000名の会員の皆さまが、私たちとともに地球環境への想いを共有し、そして昨今の環境問題を憂い、ご支持いただいています。

私はコスモ石油エコカード基金の理事長に就いて2年目になりますが、昨年度は1年目以上に地球環境への想いを強くし、環境問題の深刻さも実感した1年間でした。

2005年に新たにスタートした「秦嶺山脈森林生態系回復プロジェクト」は、森と生態系を回復する中国での環境貢献活動です。プロジェクトパートナーの西北大学（中国西安市）や、たくさんのボランティアの学生さんと協力し、秦嶺山脈で最も森林を破壊しているとされる分断道路（旧林道）に植林しています。私は昨年6月にプロジェクトの発足式に参加し、山中の活動現場にも足を運んで参りました。

発足式は、プロジェクトにボランティア参加される学生さんや地域政府の方々など、約200名が西北大学の講堂に会し開催されました。私は学生さんを前に講演する機会を得て「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトなど1時間ほどご紹介しました。終了後には答えきれないほどのご質問があり、十分に回答できなかったことがとても残念でしたが、国境を越えても地球環境への想いは変わらないと確信することができました。

その翌日には、西安市から舗装されていない道路を車で約4時間走りつづけ、車のタイヤが外れてしまうのではと心配になりながらも、やっとの思いで秦嶺山脈に到着しました。3,000m級の山々が連なる見事な眺望でしたが、その山々を白く分断する今は無用の道路を目の当たりにすると、複雑な思いがしました。プロジェクトサイトまでの道中に、「秦嶺山脈では過度な森林伐採が行われていた時期があり、その結果、稀少動物が移動できなくなってしまう、種の存続が危ぶまれている。」と聞いていたからです。

実際にプロジェクトサイトを訪れ、豊かな地球環境を蝕む小さな行為が自然環境に何らかの影響を及ぼしている事実も知りました。また、会員の皆さまや多くのボランティアの方々と同じ想いのもとに集まり、これらのプロジェクトができあがっていることも実感しています。

最後に、私たちと地球環境への思いを同じくし、今まで「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトをご支援いただいた会員の皆さまに心から感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



コスモ石油エコカード基金

理事長 近藤 直正